

日本と中国のボランティア総勢約100名にて約2,000本の植樹 4月14日（土）中国雲浮市で「植樹祭」を実施

株式会社山田養蜂場（本社：岡山県苫田郡鏡野町 代表：山田英生）は、2018年4月14日（土）に、中国広東省雲浮（うんぷ）市にある硫鉄鉱の採取跡地にて植樹祭を実施しました。弊社従業員を含む日中のボランティアメンバー総勢100名以上で、シヤホルトノキなどの広葉樹を約2,000本植えました。

今回の植樹は、植物生態学の第一人者である横浜国立大学名誉教授 宮脇昭（みやわき あきら）氏が提唱している「宮脇式植樹」を、同大学名誉教授 藤原一繪（ふじわら かずえ）先生のご指導のもと実施。この植樹祭以外の日程でも植樹を行っており、今年合計28,000本植えました。



▲植樹に参加した日中のメンバー



▲採取跡地にて植樹する参加者

養蜂業を原点とする弊社では、「自然との調和」を理念に掲げており、未来を担う子供たちに豊かな自然環境を受け渡す責任があると考え、1999年より国内外にて植樹活動を続けています。

2004年以降、弊社が行った中国での植樹本数は、本年分を含めると計154万本以上、累計敷地面積は51万㎡以上です。**これは東京ドーム（約4万6,755㎡）11個分に相当します。**

<お子さまと参加された方の感想>

中国での植樹活動は、これまでなかなか参加の機会がありませんでした。共働きで、平日はほとんど一緒に過ごすことができない、二人の子供と一緒に参加させていただきました。

子供達が植樹活動をどう捉えるのかな、と思っていましたが、小学1年生の息子が苗木を、小さい手で一生懸命植えながら、「頑張って大きくなってねえ〜」と話しかけているのを見て、この活動の意味をちゃんと捉えてくれたと思ひ、親としてすごく嬉しかったです。また、小学4年生の娘も「また来年も来たい」と言っており、今回の活動に対する高い満足度を感じました。

自然環境保護活動、異文化交流、異年齢交流、親子での貴重な思い出作りができ、また普段できない体験ができて本当にありがたい5日間でした。親子で心を入れて植えた木々が、少しばかりでも中国の未来を豊かにしてくれることを切に願います。



◇本件に関するお問い合わせ◇

株式会社山田養蜂場 文化広報室 関 (ts0975@yamada-bee.com)、秦 (kh1967@yamada-bee.com)
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194 TEL：0868-54-1906 FAX：0868-54-3346